

2 de Marzo de 1937

El "Argentin Dijo"

Año XIV No. 666 (4)

建國五周年記念日の佳辰をトし

満洲帝國・帝位継承法を發表

△東亞安定の基礎法典こもなう人

(新京一日) 満洲國政府は國璽金
く安定期に至つたが、此れ
元宮内大臣沈瑞麟を委員長とし
て帝室發典委員会を組織し、過
去二年同慎重研究を重ねて未だが
こり程漸く成案を得たので該議府
では廿七日午前宮内府で皇帝陛下
の御親臨を仰ぎ御前會議を開き
御裁可を得たので、政府は建國五
周年記念日の佳辰をトし右は就き

満洲國帝位継承法は日本帝國の
皇室典範同様皇位継承の大義
國家の権形嚴として樹立せられ
其の第一條に示す如く、康徳皇帝
帝至帝祖とし其の男系子孫が
満洲帝國の帝位を繼承するの
根本眼目として居り、第二條
以下其の御子孫同に於ける継承
の順位正明たにし以て満洲帝國
帝位の無窮に伝はるに夫に、國
家の永遠に盛んあらん等五期し
たものであるが、特に感激すべ
きは繼承法にも給はせられた如
く、満洲國皇帝は日本天皇陛下の
御補佐を受けさせられ、日
滿德一心の美を発揚し、日滿不可
分離の關係を永久に堅くした

矣、東亞安定の基礎法典とも称す
べきもので、満洲國民等は勿論日本
国民に至りても意義深いもの
である。

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長に對し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

日本が勧誘國となり

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安詳丸、神戸港の長崎丸等が何
れも出港延期の止むる事に至つた。
外、近日出帆の笠置丸、上海丸に対
しても同様停船命令が発せられた
「不敵問題」の責任を明

かにし福報たる高利主義の絶滅を
期し社内の端正を新行せられたし
日本主義を基調とする指導精神
を確立するため幹部の全面的革
新を速時断行すべし

其他三ヶ條は重る
ものでその施行は
大いに注目され
尚元氣に対し郵船
局長の名で印度セイロ、馬來西
洋、南領東印度、仏領印度支那、
暹羅、北洋、清洲、支那、満洲、
本社では大谷社長以下最高幹部は電
話で各社と連絡とり收拾策を講
じてゐるが、今回明朗会の争議の首
因には思想的団体ありと見てゐる。
二回は、かねて勧誘国たる日本が
参加各國と交渉中のところ此種十
編「大阪夏の聲」と、今回一行と
共に独立に行く熊谷久太郎並者が

仍つて近々日取りを決定、田嶋光

一月香港にて開催は決定した。

第三回 東洋観光會議

来る十一月香港で開催

の安

廿六日の衆議院予算総会

北洋漢業志

林首相“共存共榮の構
神に基づいて平和に

合により、西軍の情勢を報告した。草庵は寺内前陸相の大旗阻止ではあいか。

杉山蔭相、現役の方より予後篇の中將より適当であると云ふの
ある。

起と対支文化事業との関係について
杉山陸相の意見を質した後、英米
の対支政策の実例を挙げて、対支
文化事業の具体的改善策に関する
外務省の所見を求める。

「外に交際するすゝ間」

院予算發会に於て、國務院所長官特に空軍の整備拡充に就て生田和平が質問、梅津次官に應答がありて後、豊田豊南

無条約時代の危機正脱するだり
民潤の有力者を本国に派遣して
は如何。

河野、卓也たゞ、子語を強めて、
「陸相は説弁を弄する」上語ぢよ、
るが陸相答へず、「予後閣では
陸相大臣にあらぬ」と云ふのは、
予後閣ではつとまらぬと云ふのか
河野、おの規定は爾廻の意味によろ
そのが、陸相、其も含まぬてゐる

筋はかいか。次で昨年の対支外交の失敗を鑑て、政府は日支外交を根本的に調整する意をありや
松山陸相、陸軍は対支三原則に基
いて進むものだ、先年熱河討伐の際、我國に北支占領の意志が

廿七日の衆議院本会議

日支國交の明朗化に就て

空氣を調節しております

い説教である。支那は今尚莫
る事立云ふからは、国内の排日抗
日た氣勢左近づうさうの如月を

小谷節夫（政）質問

場合によつては自由出港をふす
意志ありや、漢業条約不調の原
因は秘密外交にありと見か、国民
民の所力互取めるだめ、此が漢
業經營を國營にしては如何。
内外務次官、わが北洋漢業権そ
のまゝに就てはい、解説あるれ
けではあり、我が方としては既
存前に就て権利の主張互がして
い様に努めてゐる。

小谷節夫(支)質問　又補花栽培に関する事
　　外務省には中華民国に提携して
　　日本支那交互通商にせんとする具
　　材を求めるることは實戦で、大使
　　は自由仕向であるから充分考へ
　　る、

い説教である。支那風は今尚其
る事立云かられは国内の排日抗
日た氣勢をあげるための抗日で
あると信ずる。政府は曰支那舊
はどりしてども經濟的提携からで
あくてはありぬと思ひて努力し
てゐる。

暫定協定

か出来た從
事場の紅白に対する
つづり

内次官、今後兩國の關係が政治的で改善される。その際は昔入省を経験して、日英國交在調に限らず、右宋おく天下の第一。

文部省の事業を若干見直しする
表は自然科學及び人文科學であ
るが、今後より更に進歩的方面

帝國の社會に対する
帝國の態度は

都内外次官、今後兩國の關係が政治的に改善されたり、その際は眞載問題等を自然解決するだらう。

泰は自然科學及び文科學等であつたが、今後は更に實用的方面に之進出するに當る。在支外で機械の機能に就ては、自分

豈田更に文政元年に就て
横東和互立するためには
ろ口シアヒ提携し、一面横東に
干涉し過ぎる國々に対して強硬
ぶりを露へ出マは四回

廿六日午後の予算総会に於て
河野一郎、中垣大蔵が粗鄙の大會
并する際、御召によりて急ひ内

支那事變次第
支外交の失敗を
衆議院本会議に於て小谷謙天の質
問に次いで主張更迭、三井復活、足
利義定の内閣改組、元老院の開設、日
英通商條約の締結等の問題が論議さ
れた。このうち、主張更迭は、元老院の
開設と並んで最も注目された問題であ
った。

の同僚が現地に在りて日本
君國のために働いてゐる
難局することが出来た。
玄井、自席より再び南京外交刷新の
必要を述べ、七八月の内を要請する。

波駆かぐ大平洋

日本を競る列国の 海軍情勢早めかり (終篇)

左算するに上から見れば、今明るとは云ふのである。はあり遂と背風の前進を手知りしあればがちあり、例として見るべきである。

米国の太平洋

しかし乍ら、其等英國支那、ソ聯の脅威と大

太平洋の米国海軍と比較

すれば結局問題にあり、未起工であるが、他の六十九隻は既に大部今着工され、残り少數も

一九三七年中には起工される必

年を計りであり、而してその六十九隻は悉く一九三

〇年の海軍条約による権利量の充

てあり、無条約時代に及する計

西は一つと含まれてゐるのだが、

たゞ戦艦二隻は旧式艦の代替とし

て起工されるので、自然無条約

時代に建造を充実することにある。

さて一九三七年迄一期として競

争が起るが、何が何に就ては三歳

其の後は逐次、其等英國支那の脅威と大

太平洋に新兵力が加はるのに随

じて年を計りであり、

その結果は、

船は隻は

は然らざる場合よりと高からざる

左得あり、例として見るべきであ

る。

その結果は、

船は隻は

は然らざる場合よりと高からざる

左得あり、例として見るべきであ

石川倉次郎氏表彰狀傳達式

寺嶋代理公使列席し嚴肅裡に行はる

先般日本産業協会から海外産業功労者として表彰せられた石川倉次郎氏に対する表彰狀伝達式は平定の如く去る廿八日午後四時よりアルサニ日本語小学校本校に於て寺嶋代理公使列席の下に下保書記生の司会で嚴かに行はれた。此の日石川氏と共に始びに漫るべく出席せる邦人は約六十名に達し

会場の同様講堂は立館の余地無き程の盛會させられ、定刻は至り下保書記生用式の辭を述べ、日本

産業協会の沿革及び昨年度表彰

記の表彰狀を譲渡して石川氏は寺嶋代理公使の氣堂に着て、田本産業協会總裁伏見宮博恭王殿下御着

二十年の勞苦と胸に於めて聖農文の影たへて證免、この時初めて静肅を破る拍手が起る。式懸に於ひ石川氏當に變つたる態度を以て

質朴「本日寺嶋代理公使閣下を

來る六日入港の商船もんてびでお九

船客は左の諸氏である。

山利才次郎、渡辺忠(父上等)、内野武兵衛、同口子、上原盛徳、末峰清次郎、辻久吉、同キクエ、寺田秀雄、新里清美、中岡良昌、桑原勝美、久保定雄、比嘉徳一、比嘉久太郎、金城昌功、上橋早藏、比嘉益

紀、同タミ、同ヨシ、新垣秀興、

日及祭日六年(前六月)北川校長

此の外亞國小学校の午前授業に入

学出来ない兒童のため午前八時か

ら十時まで、第一學年、第二學年、

第三學年、第四學年、二級を編成し

複式教諭を行ふ苦でその日割り決

定、國に新任教諭決定まで三、四年

生は矢野教師担任この由である。

此は矢野喜吉氏は先月

入社限り同校を辞し本月より本

社に入社した。

内野武兵衛氏、六月もんてび

でお丸て新夫人同伴来日

内野喜吉氏出迎へるため近々出

武之告

人事内野武兵衛氏六月もんてび

でお丸て新夫人同伴来日

内野喜吉氏出迎へるため近々出

武之告

出生泊武彦氏宅にて去る廿六日

女子出生、妻子元健在

ブルサコ日本語小学校

修業式並入学式

既報の如くブルサコ日本語小学校の修業式並入学式は去る廿八日午後三時より同校本校に於て父兄子弟等の出席する邦人は約六十名に達し

此の日石川氏と共に始びに漫るべく出席せる邦人は約六十名に達し

会場の同様講堂は立館の余地無き程の盛會させられ、定刻は至り下保書記生用式の辭を述べ、日本

産業協会の沿革及び昨年度表彰

記の表彰狀を譲渡して石川氏は寺嶋代理公使の氣堂に着て、田本産業協会總裁伏見宮博恭王殿下御着

二十年の勞苦と胸に於めて聖農文の影たへて證免、この時初めて静肅を破る拍手が起る。式懸に於ひ石川氏當に變つたる態度を以て

質朴「本日寺嶋代理公使閣下を

來る六日入港の商船もんてびでお九

船客は左の諸氏である。

山利才次郎、渡辺忠(父上等)、内野武兵衛、同口子、上原盛徳、末峰清次郎、辻久吉、同キクエ、寺田秀雄、新里清美、中岡良昌、桑原勝美、久保定雄、比嘉徳一、比嘉久太郎、金城昌功、上橋早藏、比嘉益

紀、同タミ、同ヨシ、新垣秀興、

日及祭日六年(前六月)北川校長

此の外亞國小學校の午前授業に入

学出来ない兒童のため午前八時か

ら十時まで、第一學年、第二學年、

第三學年、第四學年、二級を編成し

複式教諭を行ふ苦でその日割り決

定、國に新任教諭決定まで三、四年

生は矢野教師担任この由である。

此は矢野喜吉氏は先月

入社限り同校を辞し本月より本

校に入社した。

内野武兵衛氏、六月もんてび

でお丸て新夫人同伴来日

内野喜吉氏出迎へるため近々出

武之告

人事内野武兵衛氏六月もんてび

でお丸て新夫人同伴来日

内野喜吉氏出迎へるため近々出

武之告

出生泊武彦氏宅にて去る廿六日

女子出生、妻子元健在

の統計があつて四時同会

の統計があ

